35mm Compact Camera

# SUPER 1200 AZ

基本編

応用編

ご使用前に必ずお読みください。

J

# カメラの特長

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。この説明書の内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

## ■35mm コンパクトカメラ

- 小型・軽量3.2倍ズーム（38～120mm）
- 撮影モード切り替えはダイヤル式で簡単操作
- 低輝度自動発光フラッシュ
- 赤目軽減フラッシュ
- セルフタイマー機能付き

### 同梱品

この製品には、カメラ本体以外に以下の付属品が同梱されています。箱を開けたときにご確認ください。

- □ リチウム電池 CR2 1本
- □ ソフトケース
- □ ストラップ
- □ 使用説明書
- □ 保証書

| CE | このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。（CEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略） |
|---|---|

# 目　次



■この使用説明書の表記について
☞：参考になる情報などの記載
＊：注意などの記載

# 安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

| 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| --- | --- |

| 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
| --- | --- |

警告

絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。

落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。

カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります（電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください）。

フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

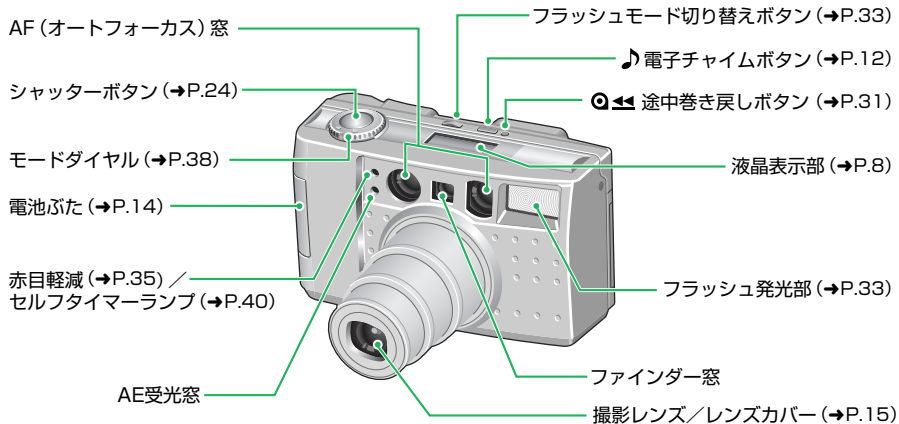
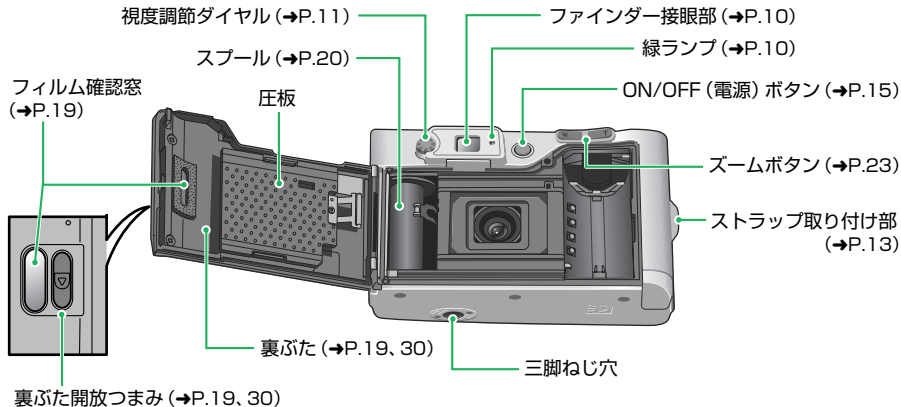
カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。

| 警告 | |
|---|---|
| | 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。 |
| | カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。 |
| | 電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。 |
| | 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。 |
| | 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。 |

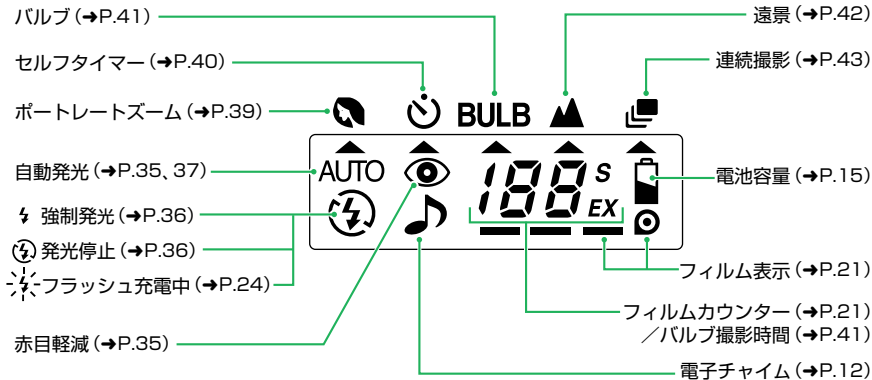
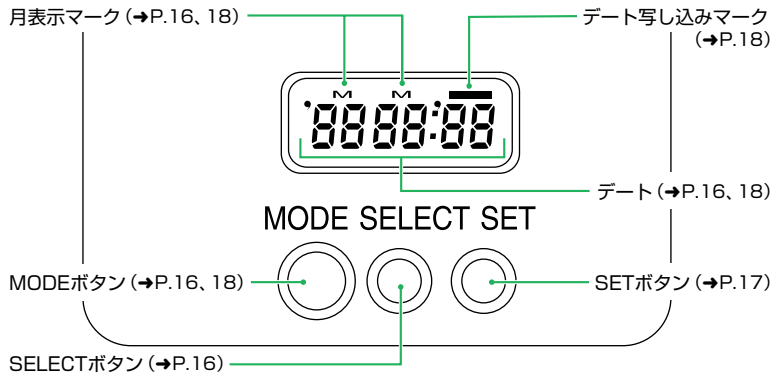
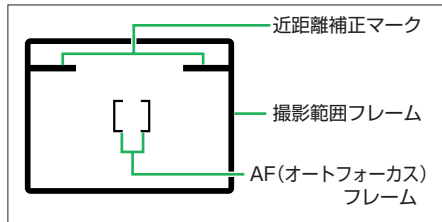
| 注意 | |
|---|---|
| | カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。 |
| | 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。 |
| | 電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |

# 各部の名称

＊（　）内のページに詳しい説明があります。

視度調節ダイヤル（➜P.11）
ファインダー接眼部（➜P.10）
スプール（➜P.20）
緑ランプ（➜P.10）
フィルム確認窓
（➜P.19）
圧板
ON/OFF（電源）ボタン（➜P.15）
ズームボタン（➜P.23）
ストラップ取り付け部
（➜P.13）
W
T
裏ぶた（➜P.19、30）
三脚ねじ穴
裏ぶた開放つまみ（➜P.19、30）

**〈液晶表示部〉**（すべての表示が現れている状態）

〈デート部〉

月表示マーク（➜P.16、18）
デート写し込みマーク
（➜P.18）
デート（➜P.16、18）
MODE SELECT SET
MODEボタン（➜P.16、18）
SETボタン（➜P.17）
SELECTボタン（➜P.16）

## 〈ファインダー〉

**撮影範囲フレーム**

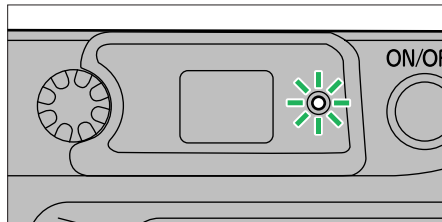
このフレーム内で構図を決めます。

**AF（オートフォーカス）フレーム**

写したいもの（被写体）にこのフレームを合わせます。

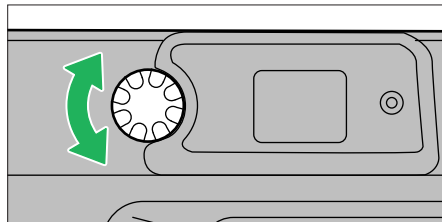
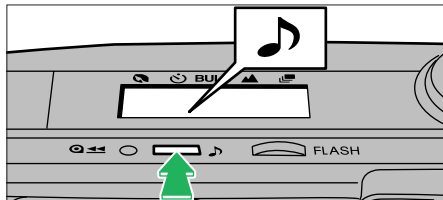
**近距離補正マーク**

近距離撮影するときには、このマークを目安に構図を決めます（➜25ページ）。

## 〈緑ランプ〉

シャッターボタンを半押しすると、緑ランプが点灯／点滅します。

■緑ランプの表示と内容

| 表　示 | 内　容 |
|---|---|
| 点　灯 | 撮影可能です（測距、充電完了）。 |
| 早い点滅（シャッターロック） | ❶フラッシュ充電中です。フラッシュの充電が完了するまでお待ちください（フラッシュ充電時間は約7秒）。☞"♪"設定時でも音は鳴りません。<br>❷撮影距離が近すぎます。広角時:0.80m～∞、望遠時:0.86m～∞で撮影してください。☞"♪"設定時には断続音が鳴ります（➜12ページ）。 |
| ゆっくり点滅 | スローシャッターになります。手ブレ防止のため三脚を使用してください。☞"♪"設定時には断続音が鳴ります（➜12ページ）。 |

〈視度調節〉

被写体がはっきりと見えない場合は、望遠側いっぱいにズーム（➜23ページ）してファインダーをのぞき、約5m離れた被写体がはっきり見えるように視度調節ダイヤルを回してください。

## 〈電子チャイムのON／OFF〉

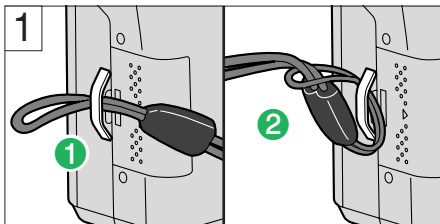
**♪ボタンを押します。**

☞液晶表示部に"♪"が表示され、電子チャイムモードONになります。

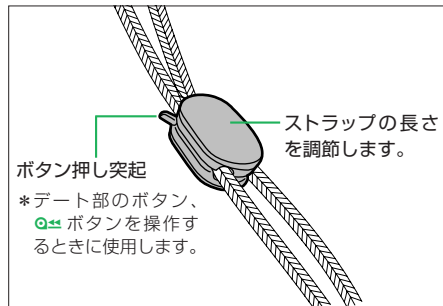
＊もう一度♪ボタンを押すと"♪"が消え、電子チャイムモードOFFになります。
＊電子チャイムのON／OFFを切り替えるたびに単音が鳴ります。
＊電源が切れても設定は保持されます。

### ■電子チャイムの種類と内容

| 種　類 | 内　容 |
|---|---|
| 単　音 | フラッシュモード、撮影モード、電子チャイムのON／OFFを切り替えたときに鳴ります。 |
| 早い断続音 | 測距できません（撮影距離が近すぎます）。 |
| ↕ | スローシャッターになるため、手ブレの恐れがあります。 |
| ゆっくりな断続音 | フィルムが正しく装てんされていません。フィルムの巻き戻しが完了しました。 |
| 断続音とともにズーム作動 | 撮影距離がフラッシュ撮影範囲を超えています（オートフラッシュズーム機能が働きます（➜34ページ））。 |

# ストラップを取り付けます

ストラップ取り付け部にストラップを通し、取り付けます。

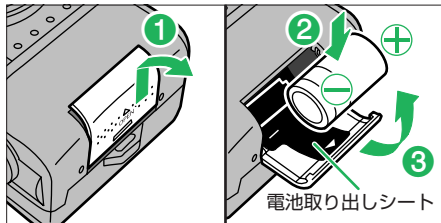
市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。

## 〈ストラップの付属品について〉

# 電池を入れます

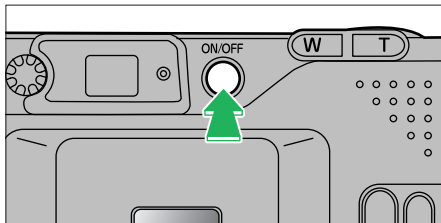
■使用する電池
★リチウム電池
フジフイルムエバレディ CR2 1本

撮影の前には必ず電池容量を確認してください(➜15ページ)。

＊電池を交換した場合には必ずデートを合わせてください(➜16ページ)。

＊フィルムを入れる前に電池を入れてください。
＊リチウム電池は約300コマ撮影できます(当社試験条件による)。
＊旅行や、たくさん写真を撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によっては電池の入手が困難な場合があります。

❶電池ぶたを開きます。
❷表示に従って、電池をかたむけずにまっすぐ押し込んで入れます。
☞電池取り出しシートが電池の下になるようにしてください。
❸電池ぶたを閉めます。

＊電池ぶたに無理な力を加えないでください。
＊電池を取り出すときは、電池取り出しシートを引いてください。

## 電源のON／OFF

ON/OFFボタンを押して電源を入れます。もう一度押すと電源が切れます。

☞電源を入れるとレンズカバーが開いて、レンズが広角側にセットされます。また液晶が表示されます。

＊電源を入れたまま約3分間放置すると、電源は自動的に切れます。ON/OFFボタンを押すと、電源ON状態に復帰します。

電源を入れるときに、レンズ部を指で押さえないでください。

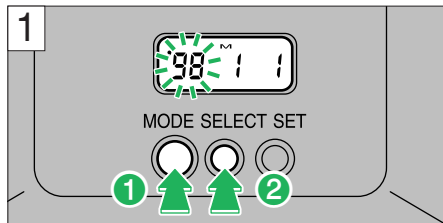
## 電池容量のチェック

電源を入れ、液晶表示部で電池容量をチェックします。

❶電池の容量はOKです。
❷電池の容量が不足しています。新しい電池を準備してください。
❸電池容量がなくなったため、シャッターは切れません。新しい電池と交換してください。

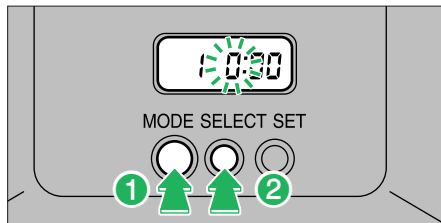
＊撮影の前には必ず電池容量をチェックしてください。
＊電池の交換はフィルムが入っていても可能です。

# デート（年月日／時分）の合わせ方

＊各ボタン操作は、ストラップに付いているボタン押し突起で行ってください。

### 年月日を合わせる

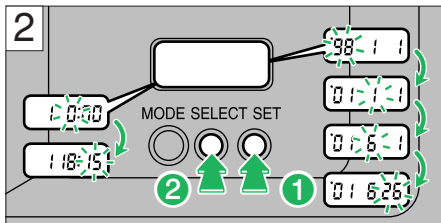
❶MODEボタンを押し、“M”と“年月日”を表示します。
❷SELECTボタンを押します。

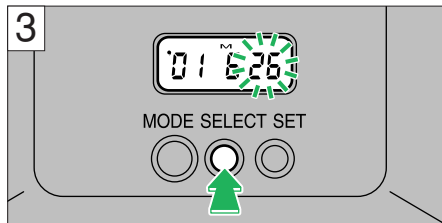
☞“年”が点滅し、年月日修正モードになります。

＊“M”の下の数字が“月”表示です。

### 時分を合わせる

❶MODEボタンを押し、“時分”を表示します。
❷SELECTボタンを押します。

☞“時”が点滅し、時分修正モードになります。

“年月日”は“時分”に連動して変わりますので、“年月日”とともに“時分”をセットしてください。

❶SETボタンを押して、点滅している数字を修正します。
❷SELECTボタンを押すと、次の設定項目に移ります。

☞年月日修正モードの場合は“年”→“月”→“日”の順に、時分修正モードの場合は“時”→“分”の順に項目が移ります。

“日”あるいは“分”を合わせたら、SELECTボタンを押してデート合わせを終了します。

☞時報に合わせたいときは、時分修正モードで“分”を合わせ、時報のゼロ秒時にSELECTボタンを押します。

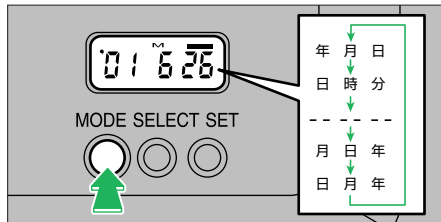
■設定範囲

年：’98〜’49（1998年〜2049年）
月：1〜12　日：1〜31
時：0〜23　分：00〜59

# デートモードの選択

＊各ボタン操作は、ストラップに付いているボタン押し突起で行ってください。

デート（年月日／時分）は写真の右下に写し込まれます。

＊写し込まれたデート表示が背景によっては見えにくくなる場合があります。

MODEボタンを押すと、デートモードを選択できます。

☞デートモードは図のように切り替わります。
＊“M”の下の数字が“月”表示です。

☞デート表示部右上に“—”が表示されていると、選択したデートモードが写真に写し込まれます（“—”はプリントには写し込まれません）。
＊“- - - - - -”を選択すると、写真にデートは入りません。

# フィルムを入れます

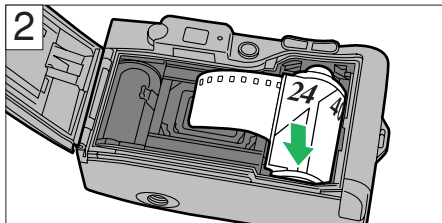
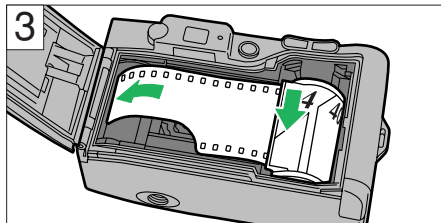
外箱とパトローネ（フィルムの容器）にDXマークがある35mmフィルムを使用します。

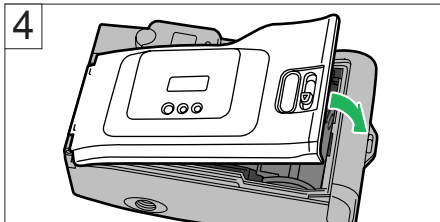
❶フィルム確認窓からフィルムが装てんされていないことを確認します。
❷裏ぶた開放つまみを動かします。
❸裏ぶたを開きます。

＊撮影途中のフィルムが入っているときは絶対に裏ぶたを開放しないでください。フィルムを取り出すときは31ページをご参照ください。
＊裏ぶたに無理な力を加えないでください。

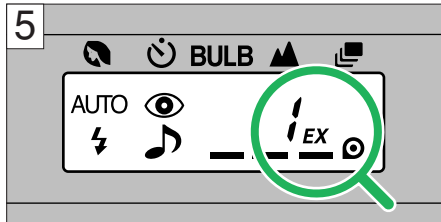
フィルムを入れる前に電池を入れてください。

- DXマークのないフィルムはISO100の感度にセットされます。
- フィルムの装てん・取り出しは、直射日光を避けて行ってください。

基本編

フィルムを入れます。

パトローネを押さえながら、フィルムの先端をスプールまで引き出します。

＊フィルムが浮き上がらないように、パトローネの角度を調節してください。
＊フィルムの先端がスプールの上にのっていることを確認してください。
＊フィルムを長く引き出しすぎたときは、フィルムを一度取り出して、長さを調節してください。

裏ぶたを閉めます。

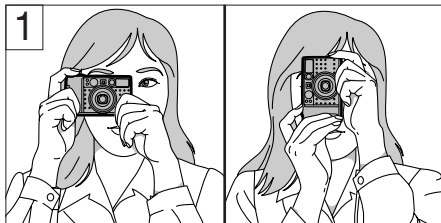
☞フィルムが自動的に1コマ目まで送られます。
フィルムの装てんが完了すると、約5秒間 “1 EX” と
“▬▬▬⊙” が表示され、その後電源が切れます。

＊フィルム確認窓を通して、装てんしたフィルムの種類、フィルム枚数、フィルム感度が確認できます。

電源を入れ、“1 EX” と “▬▬▬⊙” が表示されていることを確認します。

フィルムが正しく装てんされていないと、“E” と “▬▬▬⊙” が点滅します。撮影可能なフィルムを正しく入れてください。
☞ “♪” 設定時には約5秒間断続音が鳴ります（➜12ページ）。

基本編

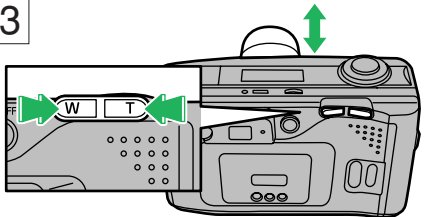
# さあいよいよ撮影です

1

電源を入れ両脇を締め、カメラを両手でしっかり構えます。

☞縦位置撮影ではフラッシュ発光部が上にくるように構えます。

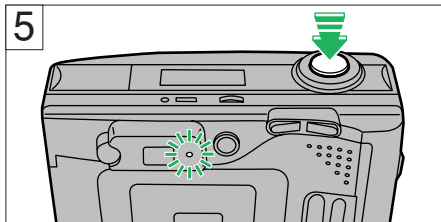
2

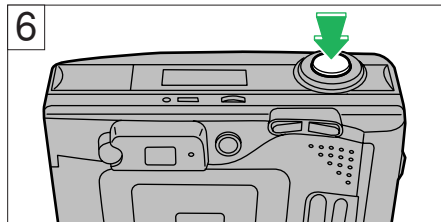
レンズやフラッシュ発光部、AF・AE窓に、指やストラップが掛からないようにしてください。

大切な撮影（結婚式や海外旅行、業務用途など）の前には試し撮りをして、カメラが正常に機能することを確認してください。

被写体を大きく写したいときは、ズームボタンの**T**マーク側を押して望遠側にズームします。広い範囲を写したいときは、ズームボタンの**W**マーク側を押して広角側にズームします。

＊撮影できる範囲は次のとおりです。

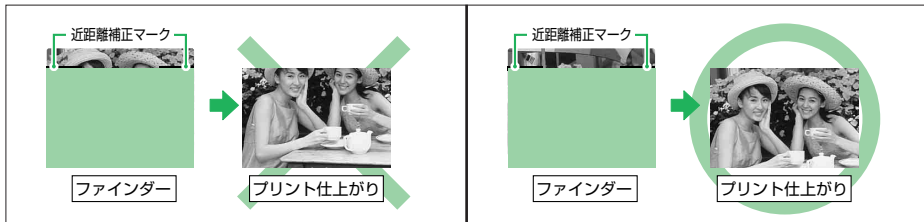
●広角時：0.80m〜∞　　●望遠時：0.86m〜∞

AFフレーム全体を被写体が満たすようにねらいます。

シャッターボタンを半押しします。

☞緑ランプが点灯すれば､撮影準備完了です(➜10ページ)。

シャッターを切ります。

☞フィルムが次のコマまで送られます。

☞フィルムカウンターの数字は撮影のたびに1コマずつ増えていきます。

- ピントが合わないときには緑ランプが早く点滅し、シャッターは切れません。“♪”設定時には断続音が鳴ります(➜12ページ)。ただし約30cmより近づくと緑ランプが点灯し、シャッターが切れることがありますが、ピントは合いません。
- フラッシュ充電中は緑ランプが早く点滅し、シャッターは切れません。液晶表示部の“ϟ”が点滅から点灯に変わるまでお待ちください(フラッシュ充電時間は約7秒)。

近距離撮影の場合

撮影距離が広角時：約0.80m〜1.5m、望遠時：約0.86〜3mの場合は、上図の の範囲が写ります。撮りたいものが の範囲内に収まるように構図を決めます。

近距離撮影では、ファインダー窓から見える範囲と写る範囲にズレが生じます（ファインダー窓と撮影レンズの位置が違うため）。近距離補正マークは、ファインダー窓から見える範囲と実際に写る範囲の目安になります。

基本編

### ◆AFの苦手な被写体について◆

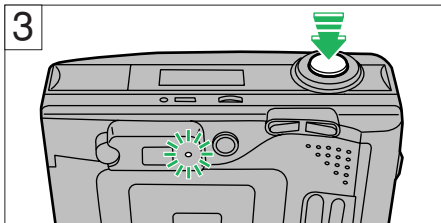
次のような場合、まれにピントが合わないことがあります。このようなときは、AFロック撮影（➜27ページ）、遠景モード撮影（➜42ページ）を行ってください。

- 被写体の近くに太陽などの明るい光源や、反射光（車のフロントガラス、波の反射など）がある場合
- 画面の中央部付近に鏡、金属面などの反射面がある場合
- 髪の毛など黒くて光を反射しにくい被写体の場合
- 炎や煙などのように実体のないものの場合
- ガラス越しの撮影の場合

# AF（オートフォーカス）ロック撮影

このような構図ではAFフレームが被写体（この場合は人物）から外れています。このままでは被写体にピントが合いません。

AFフレームに被写体が入るようにカメラを動かします。

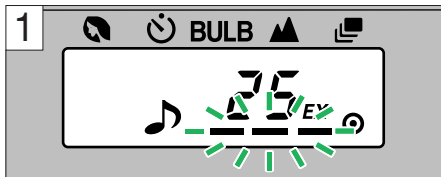
基本編

そのままシャッターボタンを半押し（AFロック）します。

☞緑ランプの点灯を確認します（➔10ページ）。

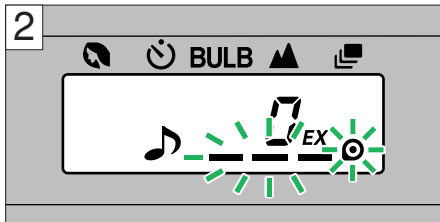
シャッターボタンを半押し（AFロック）したまま最初の構図に戻して、シャッターを切ります。

＊AFロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

# フィルムを取り出します／撮影途中でフィルムを取り出します

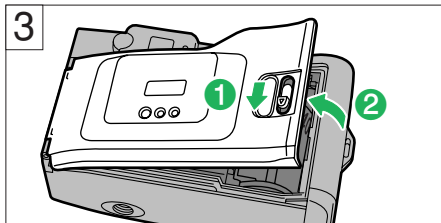
## フィルムを取り出すには

最後の1コマを撮り終わると、フィルムが自動的に巻き戻されます。

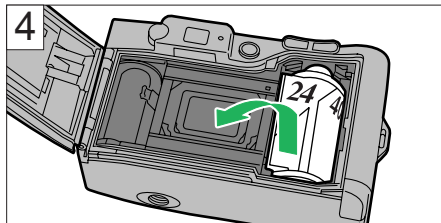
☞レンズカバーが自動的に閉じ、“▬▬▬”が点滅します。

＊巻き戻し中、ON/OFFボタンを押している間は巻き戻しが一時停止します。

モーターが止まったら、巻き戻し完了です。

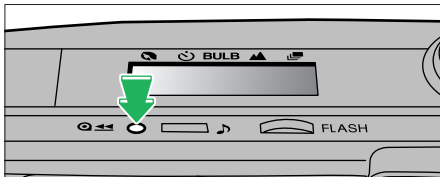
☞約5秒間“0 EX”が点灯、“▬▬▬⊙”が点滅し、その後電源が切れます。

☞“♪”設定時には断続音が鳴ります（➜12ページ）。

モーターが止まる前に裏ぶたを開かないでください。フィルムが感光する恐れがあります。

❶裏ぶた開放つまみを動かします。
❷裏ぶたを開きます。

＊裏ぶたに無理な力を加えないでください。

フィルムを取り出します。

巻き戻したフィルムがカメラに入っていると、電源は入りません。巻き戻しが完了したら、フィルムを取り出してください。

## 撮影途中でフィルムを取り出すには

ストラップについているボタン押し突起で⊙◀◀ボタンを押します。

☞レンズカバーが自動的に閉じ、"---"が点滅します。

＊⊙◀◀ボタンは、先端のとがったもので押さないでください。

巻き戻したフィルムは再撮影できません。撮影途中でフィルムを現像に出したいとき以外は、⊙◀◀ボタンを押さないでください。

モーターが止まったら、約5秒間"0 EX"が点灯、"---⊙"が点滅し、その後電源が切れます。モーターが止まり、"0 EX"が点灯、"---⊙"が点滅したことを確認してからフィルムを取り出してください。

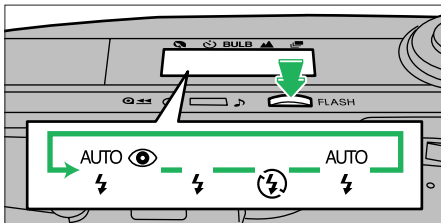
モーターが止まる前に裏ぶたを開かないでください。フィルムが感光する恐れがあります。

◆カメラにフィルムが入っているときのご注意◆

●撮影途中のフィルムが入っているときは、絶対に裏ぶたを開かないでください。
☞途中で裏ぶたを開くと、撮影済みのフィルムが感光してしまいます。
☞裏ぶたを開くと、フィルムカウンターは"/ EX"にリセットされます。

万一裏ぶたを開いてしまったときは、

❶フィルムを取り出さず、そのまま裏ぶたを閉めてください。
❷レンズ部を手で覆いながら数回シャッターを切り、未感光の部分までフィルムを送ります。
❸残りのコマは続けて撮影できます。

＊裏ぶたを開くとフィルムカウンターがリセットされるため、正しいフィルム撮影コマ数は表示されません。

# フラッシュモードの選択

電源を入れFLASHボタンを押すと、フラッシュモードを選択できます。

☞"♪"設定時には、フラッシュモードを切り替えるたびに単音が鳴ります(➜12ページ)。

選択できるフラッシュモードは次のとおりです。

(AUTO・◉・⚡)赤目軽減モード
(⚡)強制発光モード
(⊘)発光停止モード
(AUTO・⚡)自動発光モード

- 選択したフラッシュモードは、撮影後も保持されます。
- 赤目軽減モード、自動発光モードは、電源が切れても保持されます。
- 強制発光モード、発光停止モードは、電源が切れると自動的に解除され、赤目軽減モードになります。
- 赤目軽減モード、強制発光モード、自動発光モード時には、オートフラッシュズーム機能が働きます(➜34ページ)。

## フラッシュ撮影範囲

フィルム感度によってフラッシュの届く範囲が異なります。暗いところではフラッシュ撮影範囲に注意して撮影してください。

### ■フラッシュ撮影範囲

| フィルム感度 | 広角（38mm） | 望遠（120mm） |
|---|---|---|
| ISO 100 | 0.80 ～ 5.0 | 0.86 ～ 2.0 |
| ISO 400 | 0.80 ～ 7.0 | 0.86 ～ 4.0 |
| ISO 800 | 0.80 ～ 7.0 | 0.86 ～ 4.5 |
| ISO 1600 | 0.80 ～ 7.0 | 0.86 ～ 5.0 |

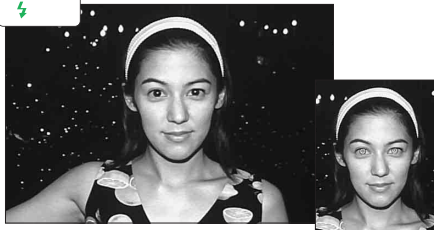
（カラーネガフィルム使用時　単位：m）

### ◆オートフラッシュズーム機能◆

フラッシュ撮影時、撮影距離がフラッシュ撮影範囲を超えていると露出アンダーになる恐れがあります。上記のような場合、本機ではオートフラッシュズーム機能の搭載により、自動的にズーム位置が広角側に変わり、露出アンダーを防ぎます。

☞"♪" 設定時、オートフラッシュズーム機能が働くと断続音が鳴ります（➜12ページ）。

＊撮影モード選択時（➜38ページ）にはこの機能は働きません。

AUTO 👁 ⚡ 赤目軽減モード

赤目現象を軽減します。

暗いところでは、約1秒間赤目軽減ランプが点灯した後、フラッシュが発光します。

赤目軽減ランプが点灯している間、緑ランプは点灯し続けます。緑ランプが点灯してからフラッシュが発光するまでカメラを動かさないでください。

### ◆赤目現象について◆

人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするためには、赤目軽減モードを使用すると共に、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

## 強制発光モード

窓際や木陰などの逆光撮影に使用します。

明るいところでもフラッシュが発光します。

## 発光停止モード

室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのフラッシュ光が届かない距離での撮影などに使用します。

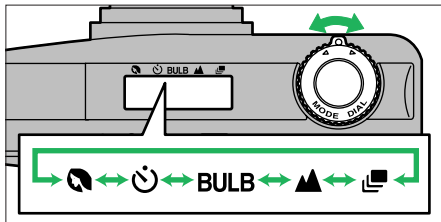
フラッシュの発光を停止します。

暗いところでは、スローシャッター警告(シャッターボタンを半押し時に緑ランプがゆっくり点滅、“♪”設定時には断続音)されることがあります(➜10、12ページ)。このときは、手ブレ防止のため三脚を使用してください。

AUTO ϟ
## 自動発光モード

一般的な撮影で使用します。

暗いところでは自動的にフラッシュが発光します。

# 撮影モードの選択

電源を入れ**MODE DIAL**を動かすと、撮影モードを選択できます。

☞"♪"設定時には、撮影モードを切り替えるたびに単音が鳴ります(➜12ページ)。

＊撮影モード選択時には、オートフラッシュズーム機能は働きません(➜34ページ)。

選択できる撮影モードは次のとおりです。

（　）ポートレートズームモード
（　）セルフタイマーモード
（**BULB**）バルブモード
（　）遠景モード
（　）連続撮影モード

＊ポートレートズームモード、セルフタイマーモード、バルブモード、連続撮影モードでは、フラッシュモードも選択可能です。

- ポートレートズームモード、連続撮影モードは、撮影後も保持されます。
- セルフタイマーモード、バルブモード、遠景モードは、１回の撮影ごとに解除されます。
- いずれのモードも、電源が切れると自動的に解除されます。

## ポートレートズームモード

撮影距離が変わっても被写体（人物）を一定の大きさで撮影するため、自動的にズームします。

ピントを合わせたい被写体がAFフレームに入るように構図を決めます。

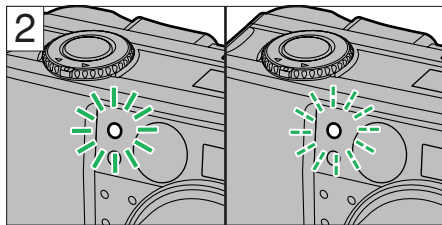
❶シャッターボタンを半押しします。

☞被写体が一定の大きさになるように自動的にズームします。

❷シャッターを切ります。

## セルフタイマーモード

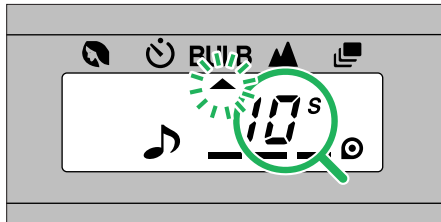
撮影者自身を撮りたいときに使用します。

構図を決めて、シャッターボタンを押します。

セルフタイマーランプが約7秒間点灯した後点滅に変わり、約3秒後にシャッターが切れます。

＊AFロック撮影も可能です。
＊スタートしたセルフタイマーモードを解除したいときは、**MODE DIAL**を動かしてください。

カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケや露光不良になることがあります。

## BULB バルブモード

長時間露光が必要な花火や夜景の撮影などに使用します。

シャッターボタンを押している間、シャッターが開きます。

☞露光時間が液晶表示部に表示されます。

＊バルブ撮影可能時間は1秒〜60秒です。

手ブレ防止のため三脚を使用してください。

## 遠景モード

風景をきれいに撮りたいときや、ガラス越しの遠景や遠い夜景の撮影などに使用します。

ピントが遠方にセットされます。

＊自動的に発光停止モードとなり、他のフラッシュモードは選択できません。

暗いところでは、スローシャッター警告（シャッターボタンを半押し時に緑ランプがゆっくり点滅、“♪”設定時には断続音）されることがあります（➜10、12ページ）。このときは、手ブレ防止のため三脚を使用してください。

## 連続撮影モード

同じ被写体を連続して撮影するときに使用します。

**構図を決めたら、シャッターボタンを押し続けます。**

☞シャッターを押し続けたコマ数分、連続して撮影できます。

＊フラッシュ撮影時には、フラッシュ充電のため、撮影間隔が長くなります（約7秒）。

# このようなときは

## 操作中このようなときは…

| このようなときは | ここをチェック | こうしてください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| シャッターが切れない。 | ①“▯”が点滅していませんか。<br>②電源は入った状態にセットされていますか。<br>③“ϟ”が点滅していませんか。<br>※緑ランプが早く点滅<br>④撮影距離が近すぎませんか。<br>※緑ランプが早く点滅 | ①新しい電池に交換してください。<br>②ON/OFF（電源）ボタンを操作して、撮影可能な状態にセットします。<br>③フラッシュ充電中です。“ϟ”が点滅から点灯に変わるまでお待ちください（フラッシュ充電時間は約7秒）。<br>④ピントが合いません。広角時：0.80m～∞、望遠時：0.86m～∞で撮影してください。 | 15ページ<br>15ページ<br>24ページ<br>23ページ |
| 電源が入らない。 | ①“E”が点滅していませんか。<br>②“0 EX”が点灯していませんか。 | ①フィルムの先端をスプールまで引き出し、正しく装てんしてください。<br>②巻き戻したフィルムを取り出してください。 | 19ページ<br>29ページ |
| フィルムを入れて裏ぶたを閉めても、“E”が点滅している。 | ●フィルムの先端をスプールまで引き出し、正しく装てんしましたか。 | ●フィルムの先端をスプールまで引き出し、正しく装てんしてください。 | 19ページ |

| このようなときは | ここをチェック | こうしてください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 途中でフィルムが巻き戻されてしまった。 | ●撮影中に ボタンを押しませんでしたか。 | ●フィルムが入っているときは、 ボタンを押さないようにご注意ください。 | 31ページ |
| 自動的にズームが作動する。 | ①撮影距離がフラッシュ撮影範囲を超えていませんか。<br>②モードで撮影していませんか。 | ①オートフラッシュズーム機能が働いています。フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。<br>②モード以外で撮影してください。 | 34ページ<br>38ページ |

プリントがこのようなときは…

| このようなときは | ここをチェック | こうしてください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 画面がぼんやりしている。 | ①AF窓をかくして撮影しませんでしたか。<br>②被写体のねらい方が適切でしたか。<br>③レンズが汚れていませんか。 | ①AF窓をかくさないようにカメラを正しく構えてください。<br>②AFフレームでねらって撮影またはAFロック撮影してください。<br>③レンズをきれいにしてください。 | 22ページ<br>27ページ<br>48ページ |

## このようなときは

プリントがこのようなときは…

| このようなときは | ここをチェック | こうしてください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 画面がぼんやりしている。 | ④カメラのブレではありませんか。<br><br><br><br>⑤近距離撮影時に▲モードで撮影していませんか。 | ④カメラをしっかり構え、シャッターボタンを静かに押してください。<br>スローシャッター時は三脚を使用してください。<br>⑤▲モード以外で撮影してください。 | 22ページ<br><br><br><br>38ページ |
| 画面が暗い。 | ①暗い場所でのフラッシュ撮影で、被写体が遠すぎませんか。<br>②フラッシュ撮影時にフラッシュ発光部に指が掛かっていませんでしたか。<br>③窓際などの逆光撮影ではありませんか。 | ①規定のフラッシュ撮影範囲内で撮影してください。<br>②フラッシュ発光部に指を掛けないでください。<br><br>③強制発光モードにセットして撮影してください。 | 34ページ<br><br>22ページ<br><br><br>36ページ |
| デート（日付／時間）が合っていない。 | ●電池を入れたとき、もしくは電池交換時に修正しましたか。 | ●電池を入れたとき、もしくは電池を交換したときは、日付と時間を修正してください。 | 16ページ |

| このようなときは | ここをチェック | こうしてください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| デートが写し込まれていない／はっきり写らない。 | ①デートモードを“------”にして撮影しませんでしたか。<br>②デートの写る位置に、白・黄・だいだい色などの明るいものがありませんか。 | ①“------”以外のデートモードを選択して撮影してください。<br>②デートの写る位置に、なるべく明るいものがこないようにしてください。 | 18ページ<br>18ページ |

# 取扱上のお願い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
   ①海辺や小雨の中などで使用するときは、水が掛からないようにご注意ください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
   ②カメラケースに入っていても、落としたり、固いものにぶつけると故障の原因になります。また、振動が加わるところ（自動車のトランクなど）に放置しないでください。
2. このカメラはマイクロコンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
3. 長時間お使いにならないときは、高温・多湿・有害ガス（タンスの中のナフタリン、しょうのう他）・ホコリなどの影響の少ない、風通しの良いところに保管してください。
4. 閉めきった自動車の中などに長時間放置しないでください。
5. 飛行機をご利用の際、未現像のフィルムやフィルムの入ったカメラは機内持ち込みされることをおすすめします。預け入れ荷物に入れた場合、X線検査でカブリなどの影響が出る場合があります。
6. レンズ、AF窓、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでホコリを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。それでも取れないときは、富士フイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて、軽くふいてください。アルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。
7. フィルム室にホコリがあると、フィルムを傷つけることがあります。ブロアーブラシで払って清掃してください。
8. フィルムの装てん･取り出しは、直射日光を避けて行ってください。
9. このカメラの使用温度範囲は－10℃～＋40℃です。
10. 寒冷地では電池の性能が低下しますので、衣服の内側に入れるなどして、温めてからご使用ください。なお一時的に性能の低下した電池は、常温に戻れば性能が回復します。

# アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明の点につきましても、裏面記載のお近くの弊社営業所やサービスステーションをご利用ください。

## ●無料修理

故障した製品についてはご購入年月、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

＊詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

## ●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

1．修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2．保証書にご購入年月、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3．富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4．火災、地震、風水害などの天災による損害、故障。
5．お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
6．前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7．各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

## ●修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

## アフターサービスについて

### ● 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。
なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

### ● 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは9,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

### ● 海外旅行中の故障

海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外支店または各国の富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外支店、代理店の所在地一覧表はお近くの富士フイルムサービスステーションにおたずねください。なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

# 主な仕様

| | |
|---|---|
| 使用フィルム | 135（35mm）ロールフィルム（DXマーク付き） |
| 画面サイズ | 24mm×36mm |
| レンズ | フジノンレンズ　6群7枚構成　f＝38mm〜120mm　1：4.5〜1：13.1 |
| ファインダー | 実像式ズームファインダー　0.46倍〜1.24倍　AFフレーム　近距離補正マーク<br>緑ランプ　視度調節 |
| 距離調節 | アクティブオートフォーカス　広角時：0.80m〜∞　望遠時：0.86m〜∞　AFロック付き<br>遠景モード（レンズ遠距離セット、フラッシュ発光停止） |
| シャッター | プログラム式電子シャッター（1/3秒〜1/400秒）　バルブモード（1秒〜60秒） |
| 露光調節 | 自動調節<br>連動範囲（ISO 100）W：EV10.8（*6.9）〜17<br>T：EV13.9（*9.8）〜17　（＊はフラッシュ発光停止時） |
| フィルム感度 | 自動設定（DX方式による）　ISO 50〜3200 |
| フィルム装てん | イージーローディング方式 |
| フィルム給送 | 電動式　自動巻き上げ　自動巻き戻し　途中巻き戻し可能（途中巻き戻しボタンによる）<br>連続撮影モード |

## 主な仕様

| | |
|---|---|
| フラッシュ | 低輝度自動発光フラッシュ　充電時間約7秒<br>自動発光モード／赤目軽減モード／強制発光モード／発光停止モード |
| 撮影モード | ポートレートズームモード／セルフタイマーモード（電子式　作動時間約10秒　途中解除可能）／バルブモード／遠景モード／連続撮影モード |
| 液晶表示 | フィルムカウンター　フィルム表示　フラッシュモード　撮影モード　電子チャイムモード<br>バルブ撮影時間　電池容量　フラッシュ充電中　デート |
| 電源 | リチウム電池 CR2 1本 |
| その他 | 三脚ねじ穴付き　電子チャイムモード付き |
| 大きさ・重さ | 109.0mm×64.0mm×46.0mm（突起部除く）　210g（電池別） |

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

富士写真フイルム株式会社

●本製品についてのお問い合わせは…

| | | |
|---|---|---|
| 富士フイルム札幌営業所 | 〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館 | TEL（011）218-5575 |
| 富士フイルム仙台営業所 | 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル | TEL（022）216-6960 |
| 富士フイルム東京販売部 | 〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30 | TEL（03）3406-2387 |
| 富士フイルム名古屋営業所 | 〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル | TEL（052）203-5262 |
| 富士フイルム大阪支社 | 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11 | TEL（06）6205-6421 |
| 富士フイルム広島営業所 | 〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター | TEL（082）250-0755 |
| 富士フイルム福岡営業所 | 〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1 | TEL（092）281-0255 |

●修理の受付は…

| | | |
|---|---|---|
| 札　幌：富士フイルムサービスステーション | 〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館 | TEL（011）222-3973 |
| 仙　台：富士フイルムサービスステーション | 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル | TEL（022）265-2149 |
| 東　京：富士フイルムサービスステーション | 〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル | TEL（03）3436-1315 |
| 富士フォトサロン・東京 | 〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ | TEL（03）3571-9411 |
| 新　潟：富士フイルムサービスステーション | 〒951-8067 新潟市本町通7番町1153 本町通ビル | TEL（025）223-7731 |
| 金　沢：富士フイルムサービスステーション | 〒920-0864 金沢市高岡町1-39 住友生命金沢高岡町ビル | TEL（076）263-3466 |
| 静　岡：富士フイルムサービスステーション | 〒420-0859 静岡市栄町1-5 殖産ビル | TEL（054）255-2465 |
| 名古屋：富士フイルムサービスステーション | 〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19 | TEL（052）202-1851 |
| 大　阪：富士フイルムサービスステーション | 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル | TEL（06）6260-0915 |
| 富士フォトサロン・大阪 | 〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル | TEL（06）6346-0222 |
| 高　松：富士フイルムサービスステーション | 〒760-0015 高松市紫雲町3-1 香西第2マンション | TEL（087）834-8355 |
| 広　島：富士フイルムサービスステーション | 〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター | TEL（082）256-3511 |
| 福　岡：富士フイルムサービスステーション | 〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1 | TEL（092）281-4863 |
| 鹿児島：富士フイルムサービスステーション | 〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16 公社ビル | TEL（099）226-2515 |

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
●東京：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始、夏期休暇以外）は営業しております。ただし、受け渡し業務のみとなります。
●富士フォトサロン・東京、大阪は受け渡し業務のみです。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL（03）3406-2981

FGS-103101-Ⓢ-01